

# 教授 門松 秀樹 (Hideki Kadomatsu)

## 研究シーズ

【法律・政治】 【観光・文化・芸術】

## 専門

日本政治論/日本政治史

## 研究キーワード

政官関係/日本政治/幕末・維新史/政治史・行政史



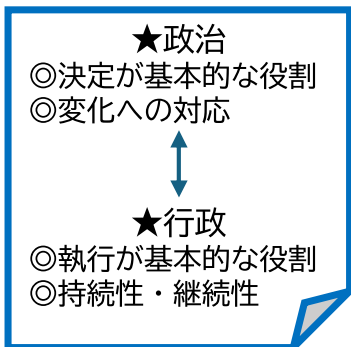
## 研究テーマ

政官関係の歴史的考察 —政治と行政が担う役割を考える—

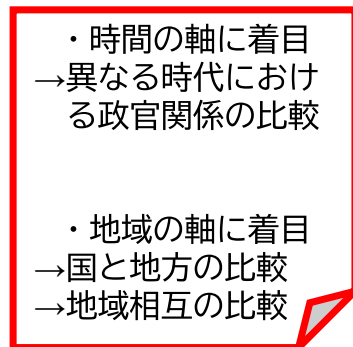
## 研究の概要

政治と行政の関係がどのように推移してきたか、そしてどのような関係が望ましいのかということについて、歴史学の視点から考えるということを基本的な問題関心としています。日本の政官関係については行政優位とする見解が有力ですが、近年では政治が優位となっているという見解も支持を集めています。異なる時代や地域を対象とする研究を積み重ねることで事例を蓄積し、政治と行政がそれぞれ担っている機能やその基本的な性質の違いに着目して、政官関係のあり方に関する分析と考察を行うことで、日本の政官関係を体系的に論ずることを目指して研究を進めています。こうした研究は、国や自治体における統治システムをめぐる課題について考える上でさまざまな示唆を得ることにつながると考えています。

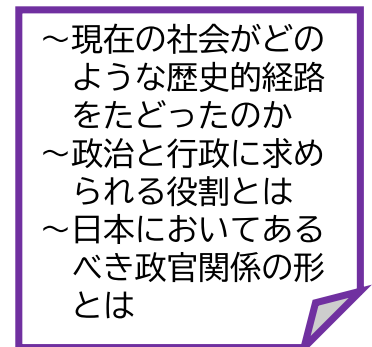
### 政治と行政の対比



### 事例の収集



### 日本の政官関係



## セールスポイント

私は、社会科学である政治学に基づいて問題関心を現在の社会に置き、人文科学である歴史学に基づく研究手法を用いて問題の分析・考察を進めるという考え方を基本として、「政治史」の研究を行っています。いわゆる「戦略的思考」とは、過去の事例の分析を蓄積することによって導かれるということを経験すると、歴史学を基盤のひとつとしていることから、現在の課題の解決のために、歴史的・戦略的視座を提供することが可能であると考えています。また、地域の歴史を学ぶことを通じて、住民の皆さんが地域に対する理解や愛着を深めることに貢献できると考えています。

## 想定される用途・応用例・活用例

- ・地域課題の解決に向けた歴史を踏まえた戦略的視座からの助言
- ・地域の歴史を学ぶための市民講座等の開催
- ・小・中学校、高校等における公民分野・歴史分野に関する特別授業等の担当